

文化博物館だよりNo.77

みなさん、こんにちは。

今、文化博物館ではトライやるウィークが始まっています。5月31日(火)～6月3日(金)まで、ぼくたちは「トライやるウィーク」で職場体験をしています。今日は3日目に入っていて、あと二日間活動します。初日はまず、自己紹介から始まり、「みんながこれからどうなるのだろうか」という不安な気持ちでしたが、現在はだいぶ慣れてきました。

1. 明石公園で石垣の刻印探し

初日の午後から、明石公園で石垣の刻印探しをしました。不思議な模様の刻印や丸や三角など数多くの種類がありました。それは昔の人の目印なのかはナゾです。発見できた刻印は60個以上ありました。刻印探しの他、館内見学もあり、特に地下にはいろんな時代の古いものがたくさんあり、その中に海から発見された「ゾウの化石」もあり、それを見て触ると、塩と砂がまだ付いていました。他にもタコツボや木の化石が原人まつりのときに発見されたようです。



石垣の刻印探し

2. いろいろな仕事がたくさん

2日目になり、館内での様々な仕事を任せられました。いろいろな機械を使って「火起こし道具」の製作に励みました。木を削ったり、切断したりしました。電動のこぎりは怖かったです。

模写画・複製画のリスト作りでは、いろいろな絵があって、描く人によって絵の雰囲気が変わったり、大きさなども様々でした。受付の仕事は緊張しました。お金の取扱いも指導者の方が親切に教えてくれました。いざ、お客さんがやってくると、練習の時よりもますます緊張しました。しっかりとあいさつをしていると、お客さんが「がんばってね!」と応援してくれました。特別展示室では、お客さんが絵に触れたり、騒いだりしないように監視の仕事をしました。事務室内での業務では、訂正シールを貼ったり、リーフレットのはさみこみをしました。「意外に大変な作業だなぁ」と思いました。



「いらっしゃいませー」



細かい作業



火起こし道具の製作



複製画・模写画のリスト作り

明日は発掘現場の見学に行きます。
今日、明日と無事に進めばいいと思います。

明石市立文化博物館
編集：トライやるウィークの中学生
大橋勇介(魚住中)
渡邊心平(大蔵中)
岡本真弥(望海中)